

## 森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	平成30年6月森町教育委員会定例会				
開催日時	平成30年6月27日(月) 13時30分				
会場	森町文化会館 第3研修室				
出席委員	委員長	井口 始			
	委員	村松加代子			
	委員	鈴木眞子			
	委員	早馬保男			
	教育長	比奈地敏彦			
出席者	学校教育課 課長	西谷ひろみ	社会教育課 課長	鈴木富士男	
	課長補佐	塩澤由記弥	技監	北島恵介	
	学校教育係長	土屋智也乃	課長補佐	松浦博	
			社会教育係長	藤原崇	
			社会体育係長	堀内裕文	
			企画管理係長	栗田俊助	
傍聴者	なし				

### 1 開会

委員長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

### 2 前回会議録の承認

委員長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なく承認。
委員長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

### 3 教育長の報告

委員長	6月に開催及び出席した各種会議等について、教育長からの報告を求める。
教育長	<p>1日・課長会 (6月議会について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長・校長会 (郷育5 梅雨時期の過ごし方等)</li> </ul> <p>4日・学生協理事来庁 (事業報告 経営状況説明等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食連絡協議会 (29年度報告 30年度給食運営の説明)</li> </ul> <p>5日・学校・教育施設訪問 (園田幼 飯田幼 飯田小 森中への訪問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 昼食：飯田小</li> <li>・学力向上対策委員会 (挨拶 学力調査分析と対応)</li> </ul> <p>6日・教員育成協議会事前レク (11日開催の育成会議、協議事項事前説明)</p> <p>7日・町長との話し合い (総合教育会議に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磐周研修主任研修会 (来賓挨拶 新しい教育の動きを受けて)</li> <li>※ 新規主任教諭対象</li> </ul> <p>8日・人事管理訪問 ※ 旭が丘中 (本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回総合教育会議 (学校のあり方について協議等)</li> </ul> <p>10日・町民ソフトボール大会 (来賓挨拶)</p> <p>11日・附属小・中学校副校長来庁 (30年度研究会案内説明)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回教員育成協議会 (教員等育成指標の活用、管理職研修体系の構築等の意見交換)</li> <li>12日・6月議会(招集日) (専決処分の報告承認、一般会計補正予算)</li> <li>・全員協議会 (森町国民保護計画・森町地域防災計画の変更等、全4件)</li> <li>13日・一般質問打合せ会 (老朽化した小学校の遊具について、小中学校の振興資金について、町長の考える学校のあり方)</li> <li>・北海道友好親善訪問事前打合せ (引率職員打合せ)</li> <li>14日・教職員人事評価管理職面接 (三倉小 天方小 泉陽中)</li> <li>15日・課長会議 (議会对応、総合教育会議報告、各休暇の計画的取得について)</li> <li>18日・6月議会(2日目) (一般会計補正予算についての質疑等) ※ 午前中で閉会</li> <li>・生徒指導連絡協議会 (警察、学校等との情報交換)</li> <li>20日・学校・教育施設訪問 (一宮幼 森幼 歴史民俗資料館)</li> <li>・学校給食運営委員会 (事業報告と本年度の事業計画等)</li> <li>21日・教職員人事評価管理職面接 (飯田小 宮園小 森小)</li> <li>22日・学校・教育施設訪問 (森小 泉陽中 宮園小 森アリーナ) ※ 昼食：泉陽中</li> <li>25日・6月議会最終日 (補正予算等採決 一般質問(5人))</li> <li>・議会反省会 (教育委員会関係 3件)</li> <li>26日・関税会来庁 (児童生徒の標語募集への依頼)</li> <li>27日・学校・教育施設訪問 (旭が丘中 図書館 文化会館) ※ 昼食：文化会館</li> <li>・教育委員会 (6月定例教育委員会)</li> <li>・静教組磐周支部役員来庁 (勤務状況の改善に関する要求)</li> <li>28日・退職校長親和会総会・情報交換会 (来賓挨拶 教育界の動向)</li> <li>29日・人事管理訪問 ※ 泉陽中 (本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)</li> <li>・教職員人事評価管理職面接 (森中 旭が丘中)</li> <li>・治郎柿原木保存会総会 (挨拶)</li> <li>30日・女子バレー磐周大会 (開会式挨拶 ※ 森アリーナ)</li> </ul>
委員長	教育長の報告について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。

#### 4 付議する案件

##### 【議事】

委員長	議事について事務局に説明を求める。 議第16号について説明を求める。
学校教育課長	議第16号 平成30年度森町教育委員会自己点検・評価について別添の報告書(案)は、平成29年度分の教育委員会の活動と主要な施策の取り組み状況について、点検評価したもの。先日6月8日の総合教育会議の後、本評価書について確認いただき、指摘事項を修正した。 承認いただければ、今後、有識者からの意見・助言をいただき、最終的に教育長の総合評価を載せて、8月の定例会に完成させたものを報告する。その後、9月議会に提出し、ホームページに掲載することで、町民に公表したい。
委員長	以上について質疑を求める。
委員長	教育長の総合評価は、有識者の意見を踏まえて作成されるということで良いか。
学校教育課長	そのとおり。

委員 長	評価段階がABCとあるが、現在ABで評価している。 一般的な段階評価では、Bが一番多くCもあるのが普通である。評価の仕方として間違っていないが、目標をレベルアップしても良いのではないか。教育長の総合評価の中で盛り込んでもらっても良い。今後に向けてどこかで検討してもらいたい。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	議第17号について説明を求める。
社会教育係長	議第17号 森町男女共同参画推進委員の委嘱について 森町男女共同参画推進委員の任期は2年であり、平成29年度に委嘱しているが、役職の任期満了の交代により、町内会長代表と町PTA会長連絡協議会長の2名、及び人事異動により役場産業課職員1名を委員として委嘱。任期は前任者の残任期間で来年の3月末までとなる。委嘱してよろしいか伺う。
委員 長	以上について質疑を求める。
社会教育課長	「町PTA連絡協議会会長」を「町PTA連絡会会長」に訂正をお願いしたい。
委員 全員	他に質疑なく承認。

#### 【報告事項】

委員 長	続いて報告事項について事務局に説明を求める。
委員 長	報第13号について説明を求める。
学校教育係長	報第13号 町職員の臨時的任用について 未定となっていた図書館アドバイザーについて、任用するもの。昨年度は、山本さんが1人で8校を受け持っていたが、天野さんと山崎さんの2人で分担することになった。
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	学校にも勤務されていると思うが、負担にならないか。
学校教育課長	非常勤講師であり毎日勤務ではないので、調整をして勤務してもらっている。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第14号について説明を求める。
学校教育係長	報第14号 平成30年度北海道森町児童生徒友好親善訪問団派遣について 本年度は、北海道森町へ訪問する年。 昭和43年に北海道森町と友好町の調印が行われ、小中学生の親善交流は、昭和63年度に北海道森町への訪問以降、交互に訪問を繰り返して、本年で16回目の訪問となる。また、今年度は友好町締結50年目の節目の年となっている。 親善訪問の目的は、礼儀正しい行動ができること、交流を深めること、それぞれの相違点を見つけながら良さを再認識することに焦点を置いている。 実施期間は、7月27日金曜日から7月31日火曜日までの4泊5日。 訪問団員は、小学生10名、中学生6名、引率者6名の22名で、小学校が5年生、中学校が2年生。前回の訪問時には、各学校から男女1名ずつ参加したが、今回、天方小からは参加希望がなかった。少ない児童数の中で、来年の受け入れのこともあり、保護者の方の負担を考慮して、天方小児童は、不参加となった。また、三倉小についても、男子児童3名、女子児童1名の中での募集であり、男女1名ずつでというのは難しく、男子児童2名で参加となった。飯田小と森小の女子児童を1名ずつ増やして、全体の男女の数を合わせた。 引率については、今年度が友好町締結50年目の節目の年となるため、教育長も同行す

	<p>る。団長が旭が丘中校長、副団長が宮園小教諭、指導教諭として森小と泉陽中の教諭が引率する。事務局から土屋が同行。</p> <p>日程については、表記のとおり。前回と同様に行きは新幹線、帰りは飛行機を利用。行きを新幹線にすることで、飛行機利用に比べて出発時間を少し遅くすることができるため、子供たちの負担も少ないと思われる。</p> <p>費用については、個人負担が3割程度となる見込み。</p> <p>今後の日程は、本日、第1回の事前学習会を行い、第2回学習会を7月11日、壮行会を7月25日に予定しており、委員長に出席をお願いしたい。8月3日には団長と児童生徒の代表が町長室にて帰町報告を行い、8月29日の事後学習会の後、訪問記を作成し、配布する予定。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
委員長	天方小の不参加の理由について確認。学校では全員に募集をしているのか。あくまで本人の希望を重視ということによいか。
学校教育係長	学校では全員に募集をしてもらっているが、来年の受け入れについて難しいということに応募がなかったと聞いている。
委員長	2「親善訪問の目的」の内容について、次回検討してもらいたい。名簿の中の教育長の役割を入れた方が良いのでは。
学校教育係長	「顧問」とする。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第15号について説明を求める。
学校教育係長	<p>報第15号 平成30年度広島平和記念式典児童生徒派遣事業について</p> <p>本事業は、平成26年度に開始され、昨年度から各学校2巡目となっている。戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代の若者たちに考える機会を与え、世界平和を願う児童生徒の育成につなげたいという趣旨のもと、8月6日の「広島平和記念式典」への派遣をするもの。</p> <p>期間は、8月5日(土)から8月6日(日)の1泊2日。訪問団員は、宮園小6年生の男女1名ずつと、旭が丘中3年生の女子生徒2名の4名。引率者は、宮園小の戸倉教頭及び旭が丘中の杉山教諭。今年度から事務局から塩澤補佐が同行し、あわせて7名となる。</p> <p>日程は、派遣行程のとおりで、経費は、全額町が負担する。</p> <p>体験・体感してきた感想を後日、感想文として学校に提出し、校内において発表の場を設け、全校生徒に平和の大切さについて広めてもらう。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
村松委員	9月の戦没者合同慰霊祭で小学生・中学生どちらかで感想文を発表したらどうか。
学校教育課長	以前に保健福祉課からもそのような話があったが、慰霊祭が平日なので児童生徒が授業を抜けてくるのが難しく、準備等で教師の負担になることも考えられるため、今まで行ってこなかった。
委員長	主旨や中学生の果たす役割を考えると有意義なことであるため、可能性について検討願いたい。
村松委員	児童生徒が発表するのが難しいのは、理解できる。保健福祉課の職員が作文を代読するなど、慰霊祭の中で児童生徒の作文を発表出来ると良い。そうすれば、教育委員会の事業も知ってもらえて良いのでは。
学校教育課長	関係機関と調整をしていく。
委員長	今年度から事務局が同行することで、安心して行くことができている。

委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第16号について説明を求める。
社会体育係長	<p>報第16号 第19回静岡県市町対抗駅伝競走大会について  毎年参加していて、昨年度は町の部9位。今年度は練習も始まっていて、熱心に指導もしてもらっている。  期日は、12月1日(土)、スタート時間が午前10時。  コースは、静岡県庁前をスタートし、ゴールが県営草薙陸上競技場。コース及び区間の変更はない。  チーム編成については、今年度は、小学生が1名増え、選手数が20名以内から21名以内に変更となった。選手は12区間12名で変更なし。  チーム編成の登録届け出は、10月15日(月)までとなる。大会前日の11月30日(金)には、監督会議が行われる。  協議後には、恒例となった小学生補欠選手を対象に行う男女別1,500mレースが予定されている。</p> <p>次に、森町実行委員会要綱について説明。第2条の事務局は、教育委員会社会教育課。窓口は総合体育館事務室となる。第5条の委員については、森町実行委員名簿のとおりで、監督・コーチについては昨年と同様。天野監督がホンダ浜松に所属している関係で、強化補助コーチとして北浦さんに就任していただいた。浜松在住でホンダ浜松に所属。毎週水曜日ボランティアで指導してくれている。4月18日から練習会を開始しており、雨天の日は森アリーナのランニングコースで練習をしている。</p> <p>次に、今後のスケジュールについて、説明。7月21日(土)にスタート位置などの県抽選会、9月12日(水)に町強化選手選考会議があり、ここで21名が決定し12名に絞っていく。  11月18日(日)の産業祭もりもり2万人祭会場において、選手壮行会を行い、終了後、強化選手最終打合会を予定している。大会終了後には、文化会館ギャラリーにおいて1月20日から2月3日まで駅伝写真展を予定。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	例年より他市町のスケジュールが早まっていないか。
社会体育係長	スケジュールを早め、年間を通して指導することにより小学生・中学生のレベルアップができるためと思われる。
委員 長	森町も練習も早く始め、雨天の練習体制も整い、強化体制も充実してきて、良い条件がそろってきた。期待をしている。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第17号について説明を求める。
社会教育係長	<p>報第17号 「森の夢づくり大学」開設講座について  4月21日(土)から4月27日(金)の7日間学生募集を行った。55講座募集したところ、延べ532件の申込があり、45講座、延べ513人で開講することになった。  講座数は、昨年に比べ6講座増え、学生は、昨年に比べ90人ほど増えた。主な理由としては、昨年改革案を実施したことにより、休講していた5講座のうち3講座が再開したことが挙げられる。特に、ヨガ講座の再開が学生数の増加につながった。  今年度、新たに開設した講座は、A教養学部の「囲碁研究会」、「大人も絵本を楽しもう!」、「写真愛仲間が集まる!女性カメラマンの写真講座」、「一家に一人 アロマ人がいれば家族が笑顔に(夜の部)」、B美術・工芸学部の「たのしい夜の絵画教室」、C創作学部の「はじめてのクラフトバンド手芸」、F健康・スポーツ学部「はつらつ健康体操(3B体操)」、「椅子ヨガ」、「第2・4木曜日生活健康ヨガ」、「リラックス・ヨーガ」の10講座で、6人の教授が新たに加わった。  また、「実社会に役立つパソコン教室(初心者コース)」は、これまでの守谷教授の継続講座であり、わずかではあるが、世代交代が進んできた講座も見受けられる。今年度の学長に村松さん、副学長に石野さんが選出された。すでに多くの講座が6月から開始され、今後の予定としては、7月24日(火)に学生代表者会、8月7日(火)に理事会・役員</p>

	会、来年3月23(土)・24日(日)に大学祭を予定している。
委員長	以上について質疑を求める。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第18号について説明を求める。
企画管理係長	<p>報第18号 平成30年度省エネ化推進事業森町文化会館LED照明設置工事入札結果について</p> <p>標題の「省エネ化推進事業」の「推進」の文字を削除していただきたい。</p> <p>平成30年5月18日金曜日午前9時に町民生活センター集会室で入札を行った。6社の指名競争入札で、(有)政和電気が落札。工期は5月25日から8月31日の予定だったが、6月21日に終了している。。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
村松委員	これで会館の中全てLED化されたのか。
企画管理係長	平成28年から3年間の予定で進めていて、今年度大ホールホワイエ・トイレ、楽屋通路・トイレ、搬入口、大道具室のLED化を行った。来年度もう一年かけて、大ホールの中の楽屋、2階3階の階段を行う予定。
委員長	舞台の照明もLEDにするのか。
企画管理係長	大ホールと小ホールの客席の照明については、調光の関係でLED化できない。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第19号について説明を求める。
学校教育課長	<p>報第19号 森町議会6月定例会報告について</p> <p>6月議会は、6月12日に招集され、6月25日の最終日まで会期14日間で開催された。</p> <p>今回、学校教育課と社会教育課から補正予算を提出している。一般質問は、5人から質問があり、教育委員会関係では、伊藤和子議員から「老朽化した小学校の遊具について」、岡戸章夫議員から「町長の考える森町の学校のあり方」とは、鈴木托治議員から「南部小中学校の振興資金について」の3点の質問があった。</p> <p>補正予算については、学校教育課関係は、歳出で、宮園小学校水泳プール改修のための工事請負費82,000千円となっている。これは、老朽化した宮園小学校のプールを改修する工事費用で、宮園小学校水泳プール改修工事監理業務委託料3,500千円は、改修工事を監理する業務を委託するものである。</p> <p>社会教育課関係では、歳入の教育費寄附金1,000千円で、毎年行われるヤマハレディースオープン地元協力金で、ヤマハ株式会社、ヤマハ発動機株式会社からそれぞれ500千円ずついただいたため、スポーツ振興基金に積み立てる。</p> <p>一般質問の答弁について説明。</p> <p>伊藤和子議員の「老朽化した小学校の遊具について」の質問は、老朽化した遊具についての課題と今後の安全管理の具体策に関する質問。</p> <p>遊具の設置にあたっては、学校を管理するものとして、その安全確保に努めることは言うまでもない。特に小学校における遊具については、体育などの教科に使うのと同時に、休み時間等に子どもたちが楽しくのびのびと遊ぶために、なくてはならないものである。</p> <p>その一方で、学年が上がるにしたがって、使用頻度が減り遊具に対する思いも変わってくるという現状もある。</p> <p>質問の「町内小学校の遊具の現状と課題について」は、小学校の遊具は、学校規模や校庭の状況等によって、設置してある遊具は異なっている。小学校5校において、使用禁止としている遊具3基を含めて、合計44基の遊具を設置している。遊具の数は、減少傾向にあり、劣化による撤去ばかりでなく、全国における遊具による事故発生の情報を受け、安全確保を図るため、速やかに使用禁止の対応をとる場合もあるため、使用でき</p>

る遊具の数が減少しているのが現状である。課題は、使用禁止の遊具を撤去するためには、多額な費用を要することである。

「老朽化した遊具の安全管理の具体策について」は、小学校のみならず、幼稚園及び中学校におけるすべての遊具や体育用具について、年1回、新年度の早期に専門業者による点検を行うとともに、日頃から職員が目視により点検し、安全確保に努めている。

点検の結果、危険であると判定された遊具については、使用禁止の表示をするとともに、ロープを使って使用できないようにするなどの対策をとっている。

「使用禁止を判定された遊具の撤去計画について」は、各学校の遊具の数や使用状況、点検の判定結果等により、優先順位をつけて順次撤去を実施している。

多くの施設の老朽化が進み、多額の修繕費を要するところではあるが、使用禁止となった遊具については、修理あるいは計画的に撤去する対応を図っていきたいという答弁をした。

岡戸章夫議員の「町長の考える森町の学校のあり方」の質問は、先日の総合教育会議を受けて、町長としての考えと学校とまちづくりの関連性についての質問であり、町長が答弁した。

「森町学校のあり方検討会」から、教育委員会に提出された答申書に基づき、教育委員会において、将来の森町の子供たちにとって学校はどうあるべきかを検討してもらい、6月8日の「総合教育会議」において、教育委員会の総意により統一見解が示された。

教育委員会からは、特に重視した事項として、学校の主体である児童・生徒の「人間としての成長」に視点をあてた考え方を優先したいことなどが示され、中学校については、「教育活動への影響、学校運営上の困難さ、保護者の声等を鑑み、近い将来1校に再編する。ただし、喫緊の課題を解決するため、まずは、早急に泉陽中学校を森中学校に統合することを考えたい。」ということだった。

小学校については、同様の考えから、「教育活動や学校運営に課題のある複式学級を解消するため、三倉小学校及び天方小学校を森小学校に統合する。また、今後の状況を見極め、更なる小学校の再編や、小中学校を併せて小中一貫校とする選択肢があることも視野に入れる必要がある。」とのこと。

幼稚園については、「制度や保護者のニーズも大きく変化していることから、幼稚園のあり方や再編について引き続き研究をしていく。」とのこと。

自分自身も、森町の学校のあり方を検討するに当たり、教育委員会と同じく「児童生徒の人間としての成長」に重きを置きたいと考えているので、教育委員会から示された方向性のもとに、学校再編を進め、幼稚園についても、今後のあり方について検討していきたい。今後は、町長部局の関係課も加えて、再編する場合の影響や対応策等についても、具体的に検討し、次の総合教育会議にて教育委員会と協議・調整をしていく。その後、地域への説明を行うとともに、議会へも全員協議会等において報告をする。

学校の統合が、マイナスのイメージではなく、森町の新しい教育が町を挙げて始まるという、希望に満ちたものにしたと考えている。森町の子供たちが、これからの変化の激しい時代を、力強く生き抜くためにも、夢や希望をもって意欲的に学ぶことができる教育環境づくりに取り組んでいきたい、と答弁した。

鈴木托治議員の「南部小中学校の振興資金について」の質問は、教育振興会資金が教育の平等性、公平性を阻害しており、解消することで、平等性、公平性を保てるのではないかという内容。

教育振興会については、町内南部の幼稚園2園、小学校2校、中学校1校に「学校教育振興会」「PTA教育後援会」「学校後援会」等の名称で、それぞれ設置されている。幼稚園や学校を応援していこうということで、地域やPTAによる組織として以前からあるもの。その設立の背景には、それぞれ地域の皆さんの地元幼稚園や学校に対する期待や、地域の子供たちへの愛情、教育に対する深い理解があったものと推察される。三倉小・天方小・泉陽中学校においては、振興会のような組織はないが、学校PTAを地域で支援する目的で、地域のほぼ全世帯から賛助会費として、町内会を通じて、毎年支援をいただいているとのこと。

教育委員会としては、園や学校の管理運営に係る経費は、設置者である町が負担すべきものであると認識している。ゆえに、教育振興会や教育後援会の有無に関わらず、学校経営や施設の維持管理において格差が出ないように配慮し、教育環境が平等になるような予算執行に努めている。その上で、各学校への関係団体からの援助については、善意の自発的寄付と捉え、学校が関係団体と話し合ったうえで、備品等の購入に充てさせていただいている。

この振興会等については、それぞれ地域の事情等異なる中で設置されているので、教育委員会が、その存続や解消について意見をいうことは差し控えたい。現在、ほとんどの会

	<p>は会費等の集金はしておらず、残高の中で、会の承認を得て他の学校にはない特色ある活動等に充てているとのこと。</p> <p>委員会としても、本来、町が負担すべきものについては、関係団体に頼ることは控えるよう、学校にも伝えている。今後も限られた予算を有効に使い、教育環境の充実に努めていきたい、と答弁した。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	<p>学校のあり方については、新聞にも出ており、関心が高い。小学校・中学校が1つになるのかと、先のことが注目されているが、今後時間をかけて段階を追って進んでいくことを周知する必要があると思った。</p> <p>教育振興会についても、教育長から適切な答弁がされたと思う。</p>
委員 全員	他に質疑なく承認。

## 5 連絡事項

委員 長	連絡事項について、説明を求める。
学校教育係長	・ 7月 は、7月11日(水)午後1時30分から臨時会を第2研修室で、7月25日(水)午後1時30分から定例会を第3研修室で開催予定。

## 6 閉 会

委員 長	<p>以上で本日の日程を終了し、閉会とする。</p> <p>14時48分閉会</p>
------	--

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 委 員 長

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

教 育 長

\_\_\_\_\_

事 務 局

\_\_\_\_\_